

2022年6月3日

大学コンソーシアムひょうご神戸
教育連携委員会委員校 各位

大学コンソーシアムひょうご神戸
教育連携委員会委員長校 神戸大学

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2022年度 第2回 教育連携委員会（持ち回り審議）について

標記のことについて、下記のとおり持ち回り審議として資料を送付しますので、内容をご確認いただき、6月10日（金）午前中までに大学コンソーシアムひょうご神戸事務局（info@consortium-hyogo.jp）まで承認の可否をご回答くださいますようお願いいたします。

なお、回答のない場合は、承認いただいたものとして取り扱わせていただきます。

記

○審議期間：2022年6月3日（金）～6月10日（金）（持ち回り審議）

○審議事項：

1. 2022年度 教育連携委員会 事業計画（課題⑦取組2）の取りまとめ校について （資料1）
教育連携委員会 事業計画（課題⑦取組2）「多様な学修機会の提供」の取りまとめ校を大手前大学が担当することについて、ご審議願います。
2. 「教育コンテンツ提案」ワーキンググループの発足について （資料2）
大手前大学から、資料2のとおり「教育コンテンツ提案」ワーキンググループの発足について提案がございました。ついては本ワーキンググループの発足の可否についてご審議願います。

○資料：

資料1 2022年度 教育連携委員会 事業計画（課題⑦取組2）

資料2 「教育コンテンツ提案」ワーキンググループ発足の提案書

【2022年度 教育連携委員会 事業計画】

委員長校 : 神戸大学

副委員長校: 大手前大学

委員校: 大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫医科大学、兵庫県立大学

計24校

＜目的＞

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。

「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。

さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

＜内容＞

1. 単位互換事業の実施

加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。「多様なメディアを高度に利用した」科目等も取り入れる。

2. 多様な学修機会の提供

加盟校に通う学生等に多様な学修機会を提供するため、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する。

＜期待される効果＞

1. 単位互換事業の実施

(1) 「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。

(2) コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。

2. 多様な学修機会の提供

(1) 加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。

(2) 異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

課題⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		予算額
取組1	単位互換事業	590,000円
取組2	多様な学修機会の提供事業	10,000円

【2022年度 教育連携委員会 事業計画(課題⑦取組1)】

【⑦取組1】達成目標	各年開放科目数10科目以上
【⑦取組1】活動指標	送り出し校数・5校/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
達成目標【⑦取組1】	各年開放科目数10科目以上			
課題を解決する取組概要【⑦取組1】	単位互換事業の実施			
活動指標【⑦取組1】	送り出し校数・5校/年			
内容 (計画)	<p>加盟校学生に、幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。</p> <p>1. 2022年度単位互換事業 各大学の特色的な科目やフィールドワーク等の実践的な科目など76科目以上を開放科目として実施。</p> <p>2. 2023年度単位互換事業に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位互換包括協定書締結大学の拡大 ・開放科目の選定 ・広報ツールの制作 			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	590000円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	
------------------------------------	--

【2022年度 教育連携委員会 事業計画(課題⑦取組2)】

【⑦取組2】達成目標	各年プログラム数5件以上
【⑦取組2】活動指標	参加者数50人以上/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
達成目標 【⑦取組2】	各年プログラム数5件以上			
課題を解決する 取組概要 【⑦取組2】	多様な学修機会の提供			
活動指標 【⑦取組2】	参加者数50人以上/年			
内容 (計画)	<p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する(ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等)。</p> <p>1 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2022年度は、多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。</p> <p>2 ICTを活用したコンテンツの検討 2021年度「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」試行運用を教育連携委員会委員校7校を対象に実施した。試行期間は、2020、2021年度としていたが大学eラーニング協議会事務局より、継続をお認めいただいている。年会費(30,000円)が必要となることから、教育連携委員会での承認を得たのちに正式決定とする。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」試行を教育連携委員会委員校以外にも周知し、希望校は、試行できるようにする。			
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	10000円			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
---	--

2022年度 教育連携委員会 事業予算

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
		取組1		取組2			
		単位互換事業		多様な学修機会の提供事業		内訳	予算額
		内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	700,000		590,000		10,000	100,000
	助成事業収入	0					
	受託事業収入	0					
	プログラム収入	0					
	雑収入	0					
	戻入金	0					
	計	700,000		590,000		10,000	100,000
支出	会議費	10,000	検討委員会開催費	5,000	検討委員会開催費	5,000	
	旅費交通費	10,000	検討委員会調査費	5,000	検討委員会調査費	5,000	
	通信運搬費	0					
	消耗品費	0					
	新聞図書費	0					
	印刷製本費	160,000	ポスター・チラシ制作費	160,000			
	光熱水料費	0					
	賃借料	0					
	保険料	0					
	謝金	80,000	ポスター・チラシ謝金	80,000			
	租税公課	0					
	支払手数料	2,000	振込手数料	2,000			
	諸会費	0					
	委託費	428,000	単位互換HP更新費	338,000			各プログラムHPに係る予備費 90,000
	人件費	0					
	接待交際費	0					
	支払支援金	0					
雑費	10,000					委員長校・副委員長校連絡調整等 10,000	
計	700,000		590,000		10,000	100,000	

収入－支出	0
-------	---

「教育コンテンツ提案」ワーキンググループ発足の提案書

(ワーキンググループ発足の目的)

本ワーキンググループ(以下、WG)は、ポストコロナ社会における新たな大学教育や単位互換事業の姿を見据え、コロナ禍に導入されたオンライン授業(非対面授業)の実施にあたり各大学で見られた課題を抽出し、その課題を踏まえた教育コンテンツ制作支援のあり方とオンライン授業の活用方法について検討することを目的としています。

コロナ禍が重大な局面を脱しつつあるなか、各大学では今年度に入って従来の対面授業が戻りつつあります。一方、一部の大学ではオンライン授業(オンデマンド型授業など)が定着する様子も見られます。オンライン授業は、対面接触がリスク化したコロナ禍において緊急避難的に導入された授業形式ですが、空間・時間を越えて教育コンテンツを提供できる「選択肢」を私たちに示してくれました。この2年における新たな「選択肢」の大学教育への導入を総括し、その可能性と課題を今後活かすための議論を深めるのは、現在においてほかにないと考えます。

東西南北に広がる兵庫県の地域特性を考えれば、空間と時間を越えるオンライン授業は、大学コンソーシアムひょうご神戸が提供する「単位互換事業」のさらなる推進や多様な学修機会の提供につながるはずです。実際、今年度すでに「単位互換事業」において複数のオンライン授業が提供されており、なかには定員を越えた履修希望者を集める授業が見られています。

本 WG では、コロナ禍におけるオンライン授業の導入にあたって、各大学での授業運営や教育コンテンツの制作支援体制等を共有する場をまず設けたいと存じます。そして、そこで示された課題を踏まえオンライン授業の活用や教育コンテンツ制作支援のあり方を模索していきます。

(運営体制)

グループ長: 大手前大学 教授 谷村 要(教育連携委員会副委員長)

グループメンバー: 大学コンソーシアムひょうご神戸会員校より任意で参加

WG 事務取扱: 大手前大学 地域・社会連携室

(開催スケジュール)

第1回 WG 開催予定日: 7月中旬~7月末

第2回 WG 開催予定日: 9月~10月

(備考)

第1回 WG 議題(仮): コロナ禍におけるオンライン教育導入の課題について

本 WG 開催前に WG 参加校にコロナ禍のオンライン授業実施に関するアンケートを行い、オンライン授業の運営や教育コンテンツ制作における課題を検討する。

第2回WG議題(仮):オンライン授業の活用およびコンテンツ制作支援について

第1回WGの議論を踏まえ、今後のオンライン授業の活用および制作支援のあり方について検討する。必要に応じて、大手前大学現代社会学部通信教育課程の教育コンテンツ制作を手掛ける株式会社デジタル・エデュケーション・サポート(大手前大学出資会社)から助言を受け、グループ長がその内容を報告する。

以上

2022年6月2日

大手前大学